



ダッシュボードとウィジェットのベストプラクティス

OnCommand Insight

NetApp
April 01, 2024

目次

ダッシュボードとウィジェットのベストプラクティス	1
ベストプラクティス：適切な指標を見つける	1
ベストプラクティス：適切なアセットの検索	2
散布図の例:軸を知る	3


ダッシュボードとウィジェットのベストプラクティス

ここでは、ダッシュボードとウィジェットを最大限に活用するためのヒントやコツを紹介します。

ベストプラクティス：適切な指標を見つける

OnCommand Insight では、カウンタと指標の名前がデータソースごとに異なる場合があります。

ダッシュボードウィジェットの指標やカウンタを検索するときは、予期しない名前で指標が分類されることがあります。OnCommand Insight のドロップダウンリストは通常アルファベット順ですが、用語がリストに表示されない場合があります。たとえば、ほとんどのリストで「raw capacity」は「used capacity」から離れた位置に表示されます。

ベストプラクティス：* Filter by *などのフィールドや列セレクトなどの場所で検索機能を使用します  あなたが探しているものを見つけるために。たとえば、「cap」と検索すると、名前に「capacity」が含まれているすべての指標がどこで発生しているかに関係なく表示されます。その後、その短いリストから必要な指標を簡単に選択できます。

以下は、指標を検索する際に有効なキーワードの例です。

検索する項目	次の検索も試してください。
CPU	プロセッサ
容量	使用済み容量物理容量 プロビジョニングされた容量 ストレージプールの容量 <other asset type> の容量 書き込み済み容量
ディスク速度	ディスク速度が最も低いディスクタイプ
ホスト	HypervisorHostsの略
ハイパーバイザー	HostIハイパーバイザー
マイクロコード	ファームウェア

名前	AliasHypervisorの名前 ストレージ名 <other asset type> 名 単純な名前 リソース名 ファブリックエイリアス
読み取り / 書き込み	部分的なR/WPending書き込み IOPS -書き込み 書き込み済み容量 レイテンシ-読み取り キャッシュ使用率-読み取り
仮想マシン	仮想VMI

これは包括的なリストではありません。これらは検索キーワードの一例です。

ベストプラクティス：適切なアセットの検索

ウィジェットのフィルタや検索で参照できるInsightのアセットは、アセットタイプによって異なります。

ダッシュボードでは、ウィジェットの作成時に使用するアセットタイプによって、フィルタリングや列の追加が可能な他のアセットタイプカウンタが決まります。ウィジェットを作成する際は、次の点に注意してください。

アセットタイプ / カウンタ	フィルタ可能なアセット
仮想マシン	VMDK です
データストア	内部ボリュームVMDK 仮想マシン ボリューム
ハイパーバイザー	仮想マシン

ハイパーバイザーです	ホスト
ホスト	内部ボリューム
クラスタ	HostVirtual Machineの略
ファブリック	ポート

これは包括的なリストではありません。

ベストプラクティス：リストに表示されない特定のアセットタイプをフィルタリングする場合は、別のアセットタイプを使用してクエリを作成してみてください。

散布図の例:軸を知る

散布図ウィジェットでカウンタの順序を変更すると、データを表示する軸が変更されます。

このタスクについて

この例では、IOPS が低いにも関わらずレイテンシが高い低パフォーマンスの VM を示す散布図を作成します。

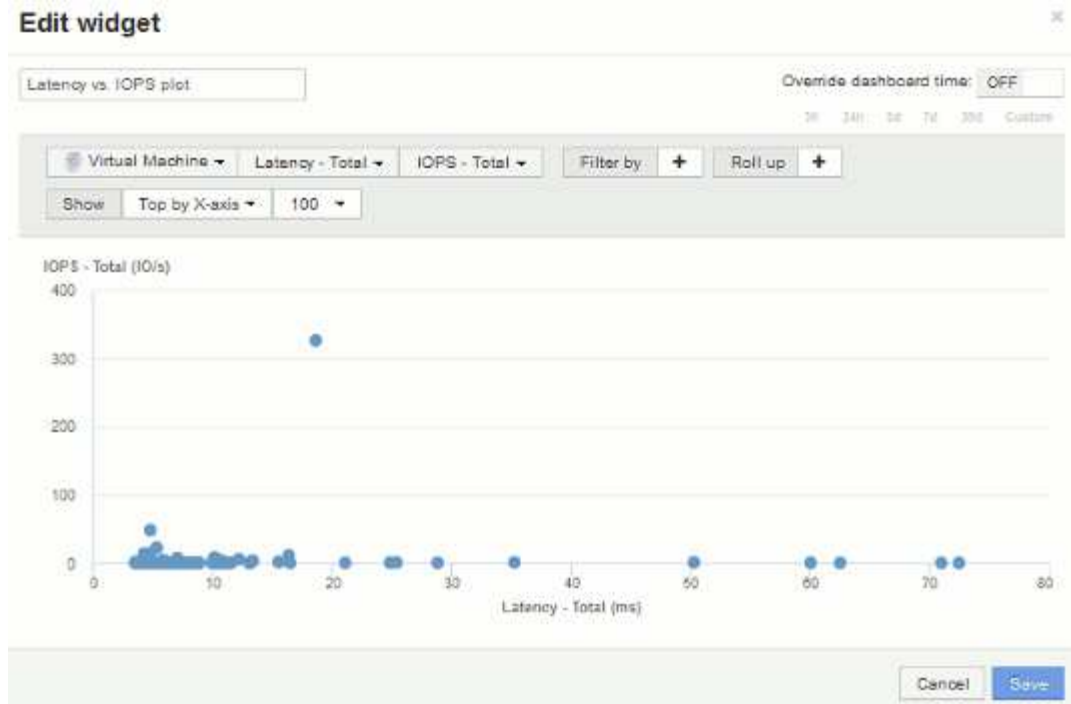
手順

1. ダッシュボードを編集モードで作成または開き、* 散布図 * ウィジェットを追加します。
2. アセットタイプを選択します（例：* Virtual Machine *）。
3. 出力する最初のカウンタを選択します。この例では、*[レイテンシ-合計]*を選択します。

_Latency - Total _ がグラフの X 軸に沿って表示されます。

4. プロットする 2 番目のカウンタを選択します。この例では、* IOPS - Total *を選択します。

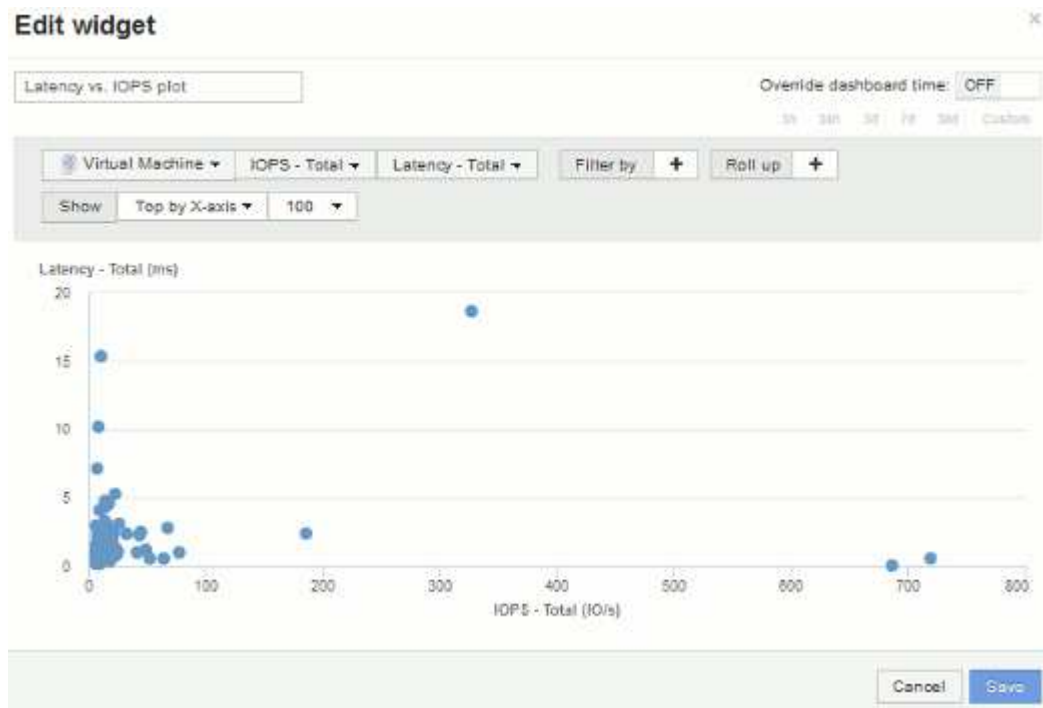
_IOPS - Total _ がグラフの Y 軸に沿って表示されます。VM のレイテンシが高いほど、グラフの右側に表示されます。上位 X 軸 * の設定が最新であるため、レイテンシが高い上位 100 個の VM のみが表示されます。



- 最初のカウンタを* IOPS - Total に、2番目のカウンタを Latency - Total *に設定して、カウンタの順序を逆にします。

latency-Total がグラフのY軸に、IOPS-TotalがX軸に表示されるようになりました。今度は VM の IOPS が高いほど、グラフの右側に表示されます。

「X 軸上」の設定は変更されていないため、ウィジェットには、現在 X 軸に沿ってプロットされている上位 100 個の IOPS の高い VM が表示されます。



- X 軸上の N、Y 軸上の N、X 軸下の N、Y 軸下の N、または Y 軸下の N をグラフに表示するように選択できます。この最後の例では、IOPS_の合計IOPS_が最も高い上位100台のVMがグラフに表示されてい

ます。[Top by Y-axis]に変更すると、合計レイテンシが最も高いVMが100台表示されます。

散布図では、ポイントをクリックするとそのリソースのアセットページが開きます。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。